

20080

Syntax Score 導入へ向けての検討

星総合病院

岡本隆嗣、井上和良、内藤豊貴、西尾皓人、色川桂輔、村上 一夫、鈴木頼快

目的

SYNTAX Score とは病変枝数・部位だけでなく病変形態を考慮し Score 化するものである。安定冠動脈疾患における待機的PCIのガイドライン(JCS 2011)においてランダム試験としてSYNTAX Score を使用していることも考慮し冠動脈血行再建にてPCI/CABG 選択を考慮するにあたり SYNTAX Score を導入が有意ではないかとし検討にあたるものである。そこでSYNTAX Score を使用するにあたり Score をつける人により有意差がでるのではとの考察のもと以下の方法にて比較を考えた。

方法

Syntax Score を過去10症例 同一症例に対し医師 臨床工学技士にて Score をつけ評価。おこなう症例はランダムにて選択する。

考察

Syntax Score 評価をおこなう際に各個人に共通認識をもたせるため合同で数例 評価 検討を行なうことにより Score の差が埋められるのではないかと考えられる。